

第55回 東京・第56回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第55回 東京〕 開催日：平成24年11月 7日（水）
会 場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〔第56回 大阪〕 開催日：平成24年11月14日（水）
会 場：大阪国際会議場 12階特別会議場
(グランキューブ大阪)

参加登録制（聴講無料）

定員 東京会場 300名／大阪会場 200名

参加申込方法は、裏面をご覧ください。

後 援： 文部科学省
協 賛： (公社) 高分子学会 (一社) 色材協会 (公社) 自動車技術会
(一財) 日本ウエザリングテストセンター (一社) 日本ゴム協会
(社) 日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟 (一社) 日本防錆技術協会
(一社) 表面技術協会 (社) 腐食防食協会

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

テーマ 屋外暴露と促進試験の相関性

■東京（第55回）プログラム

会期：平成24年11月7日（水） 会場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

9:30～9:40	開会のご挨拶	理事長 春山志郎
[1] 9:40～10:30	防食塗装システムの耐候性の考察と最近の国際規格の動向 大日本塗料株式会社 技術開発部門 特別顧問(前フェロー)	田邊弘往
[2] 10:35～11:35	Current Solar Spectral Distribution Models and Standards (通訳付) 太陽光の分光分布計算モデルと規格の現状 U.S. National Renewable Energy Laboratory Senior Scientist (Retired)	Daryl R. Myers
[3] 11:40～12:30	高度文明社会ゆえのインフラ管理の落とし穴 東京ガス株式会社 理事 (ISO/TC156/WG10 国内会議 主査)	梶山文夫
12:30～13:30	休憩	
[4] 13:30～14:20	ゴムの酸化劣化とオゾン劣化の違い ロンドン大学 Visiting Academic, PhD (2003～2011年 客員教授)	深堀美英
[5] 14:25～15:25	Application of Service Life Prediction Methodology to Photovoltaics (通訳付) 太陽電池における寿命予測方法 3M Weathering Resource Center Senior Specialist ASTM E44 chairman	David M. Burns
[6] 15:30～16:20	自動車用塗料の屋外暴露と促進試験の相関性 日産自動車株式会社 要素技術開発本部 材料技術部 車両先行材料開発グループ 主担	渡邊健太郎
[7] 16:25～17:15	屋外暴露と各種促進耐候性試験の相関研究（第一報） スガウエザリング技術振興財団 耐候光研究委員会	田中丈之 渡辺真
17:20～19:20	懇親会（有料 2,000円税込み）	

(敬称略)

■大阪（第56回）プログラム

会期：平成24年11月14日（水） 会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）12階特別会議場

10:00～10:10	開会のご挨拶	専務理事 須賀茂雄
[1] 10:10～11:00	防食塗装システムの耐候性の考察と最近の国際規格の動向 大日本塗料株式会社 技術開発部門 特別顧問(前フェロー)	田邊弘往
[2] 11:05～12:05	Current Solar Spectral Distribution Models and Standards (通訳付) 太陽光の分光分布計算モデルと規格の現状 U.S. National Renewable Energy Laboratory Senior Scientist (Retired)	Daryl R. Myers
12:05～13:05	休憩	
[3] 13:05～13:55	高度文明社会ゆえのインフラ管理の落とし穴 東京ガス株式会社 理事 (ISO/TC156/WG10 国内会議 主査)	梶山文夫
[4] 14:00～14:50	ゴムの酸化劣化とオゾン劣化の違い ロンドン大学 Visiting Academic, PhD (2003～2011年 客員教授)	深堀美英
[5] 14:55～15:45	自動車用塗料の屋外暴露と促進試験の相関性 日産自動車株式会社 要素技術開発本部 材料技術部 車両先行材料開発グループ 主担	渡邊健太郎
[6] 15:50～16:40	屋外暴露と各種促進耐候性試験の相関研究（第一報） スガウエザリング技術振興財団 耐候光研究委員会	田中丈之 渡辺真
16:45～18:45	懇親会（有料 2,000円税込み）	

(敬称略)

■講演概要

た なべ ひろ ゆき
田 邊 弘 往

近年鋼構造物は長大化しており、維持管理の視点から長期耐久性向上技術が重要なものとなっている。これまでの報告をもとに防食塗装システムの性能に及ぼす耐候性劣化の影響について述べる。これに関連して東南アジアに位置する暴露環境における耐候性試験の状況及び防食塗装に関する、国際規格の最近の動向について紹介する。最後に防食塗装のライフサイクルコスト試算の考え方を紹介する。

Daryl R. Myers

Solar spectral power distributions (SPD) impact the performance of materials exposed to sunlight in space and on the Earth. We outline current SPD measurement and calibration instrumentation. Solar spectral models are an inexpensive substitute for these expensive measurements. We describe current SPD calculation models, and the use of one as the basis of standard spectral distributions for consensus standard documents.

太陽光の分光分布は宇宙及び地球において太陽光に曝される物質の性能に強く影響する。太陽光の分光分布の測定と校正の現状について説明する。またこの中で太陽光の分光モデルはこれらの測定に対する代用品となる。現在の分光分布計算モデルと、それを元にした規格における標準的な分布について述べる。

かじ やま ふみ お
梶 山 文 夫

高度文明社会は、ガス、水道、電力パイプラインなどのライフラインによって支えられている。1980年代中頃以降、欧米で高圧交流送電線/交流電気鉄道輸送路と並行して埋設された科学技術の結晶である、高抵抗率のコーティングが被覆された高強度鋼のパイプラインの小さなコーティング欠陥部で交流腐食が発生した。交流腐食現象の本質、再発防止策、評価方法を明らかにするとともに、さらに交流腐食対策の落とし穴にせまる。

ふか ほり よし ひで
深 堀 美 英

ゴムの酸化劣化とオゾン劣化のメカニズムはかなり異なっている。酸化劣化はゆっくり浸透し全体を均一に変化させるのに対し、オゾン劣化は強力に表面層を攻撃し部分的な破壊をもたらす。これは入力としての酸素とオゾンのエネルギーレベルの違いに起因すると思われる。このことは屋外暴露試験と高濃度促進試験の違いとしても起こりうることであり、注意を要する。

David M. Burns (東京講演のみ)

Significant changes focused on lowering cost are occurring in the design of photovoltaic systems and service life prediction (SLP) methods are proposed to evaluate the impact of these changes on product lifetime. This talk presents practical considerations in applying SLP to solar modules and materials. The importance of understanding degradation pathways and correlating in-service (outdoor) and accelerated (machine) performance degradation will be discussed.

太陽電池システム設計において、コスト削減に重点を置いた大きな変化が起こっており、このコスト削減による製品寿命に対する影響を評価するための寿命予測 (SLP) 方法が提案されている。太陽電池モジュールや素材に SLP を応用する上での実用的な考察を述べる。またこの中で、劣化現象、実際の使用時 (屋外) と促進試験方法との相関について紹介する。

わた なべ けん た ろう
渡 邊 健 太 郎

自動車用塗料の耐候性試験として実施している促進暴露試験は、その特徴に基づき数種の方法を適用している。今回、それらの促進暴露試験の代表的な試験と、屋外暴露試験の相関性について確認した結果を報告する。

た なか たけ ゆき わた なべ しん
田 中 文 之 / 渡 辺 真

スガウエザリング技術振興財団耐候光研究委員会では、2009年(平成21年)より、塗装板、プラスチックについて、新宿・沖縄・アリゾナの屋外暴露試験及び各種促進耐候性試験を実施し、屋外暴露との相関性の研究を行っている。本委員会の取組みと研究成果の一部を報告する。

■参加申込方法

参加をご希望の方は、当財団 Web サイト (www.swtf.or.jp) より参加登録フォームにてお申し込み下さい。

登録完了後ご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。

FAXでお申し込みの場合は、下記の参加申込書をご利用ください。

■参加申込書 (FAX 用)

スガウエザリング技術振興財団 行

(東京)FAX 03-3353-4753

(大阪)FAX 06-6386-5156

講演会(無料)	東京 (11月7日)	・	大阪 (11月14日)	(いずれかに○印)
懇親会(有料)	参加する	・	参加しない	(いずれかに○印)
ご勤務先				
ご勤務先住所	〒 都道府県			
T E L				
F A X				
ご所属				
フリガナ				
ご氏名				
電子メール	(参加登録の可否をご連絡いたしますので、必ずご記入下さい。)			

■懇親会費の支払方法

当日、懇親会場受付にて現金 2,000 円(消費税込み)をお支払いください。

■会場のご案内

東京会場

アルカディア市ヶ谷 3階富士の間
〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921



- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1またはA4)出口から徒歩2分
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

大阪会場

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)12階特別会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555



- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口すぐ)
- JR環状線「福島」駅から徒歩(約10分)
- JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(約10分)
- 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩(約10分)

尚、シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」(大阪国際会議場東隣)とJR「大阪駅」西側(高架下)の間で運行しておりご利用いただけます。

—— (公財)スガウエザリング技術振興財団 ——

東京事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14
Tel : 03-3354-5248 fax : 03-3353-4753
E-mail : info@swtf.or.jp

大阪事務局

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23
Tel : 06-6386-2691 fax : 06-6386-5156
E-mail : osaka@swtf.or.jp